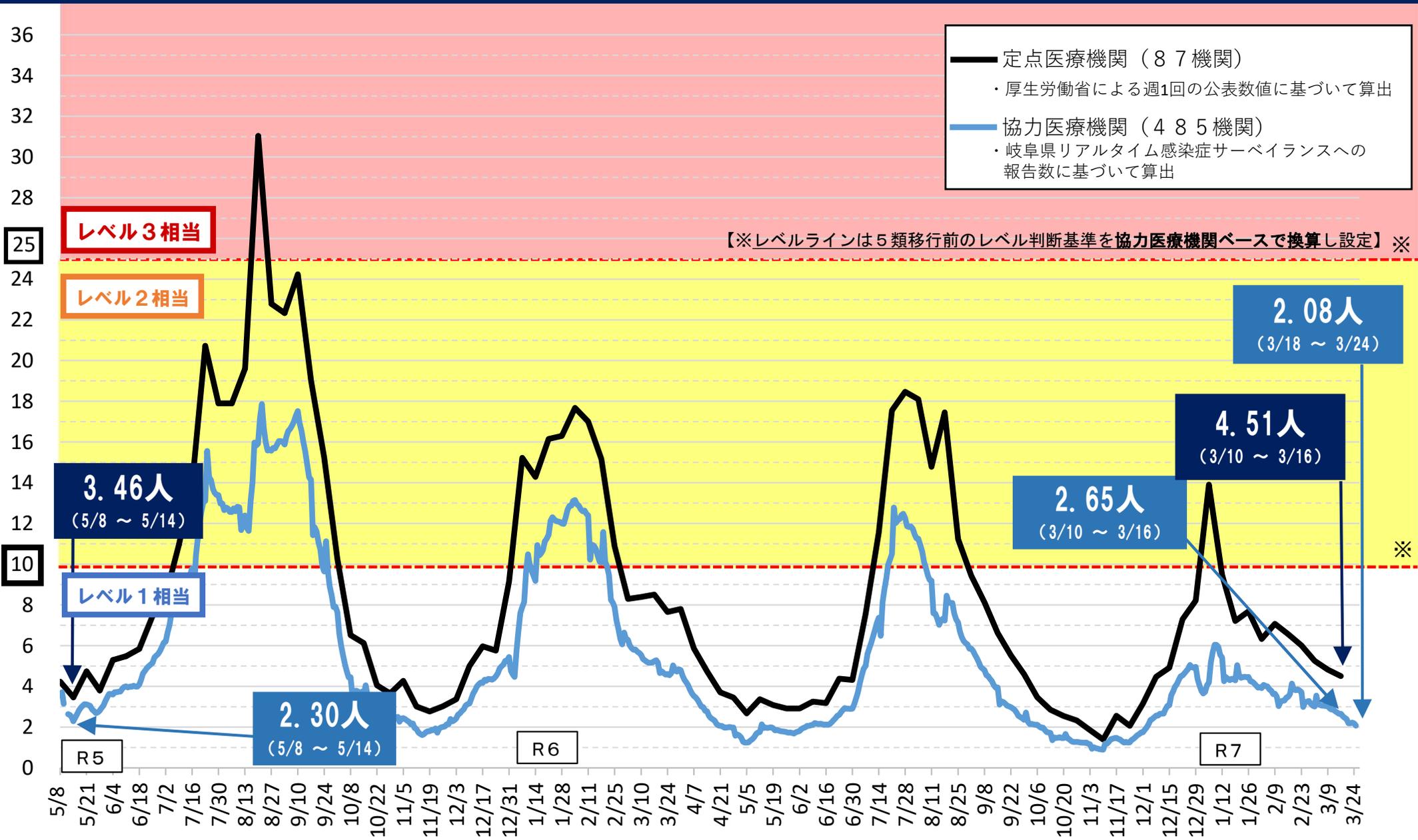
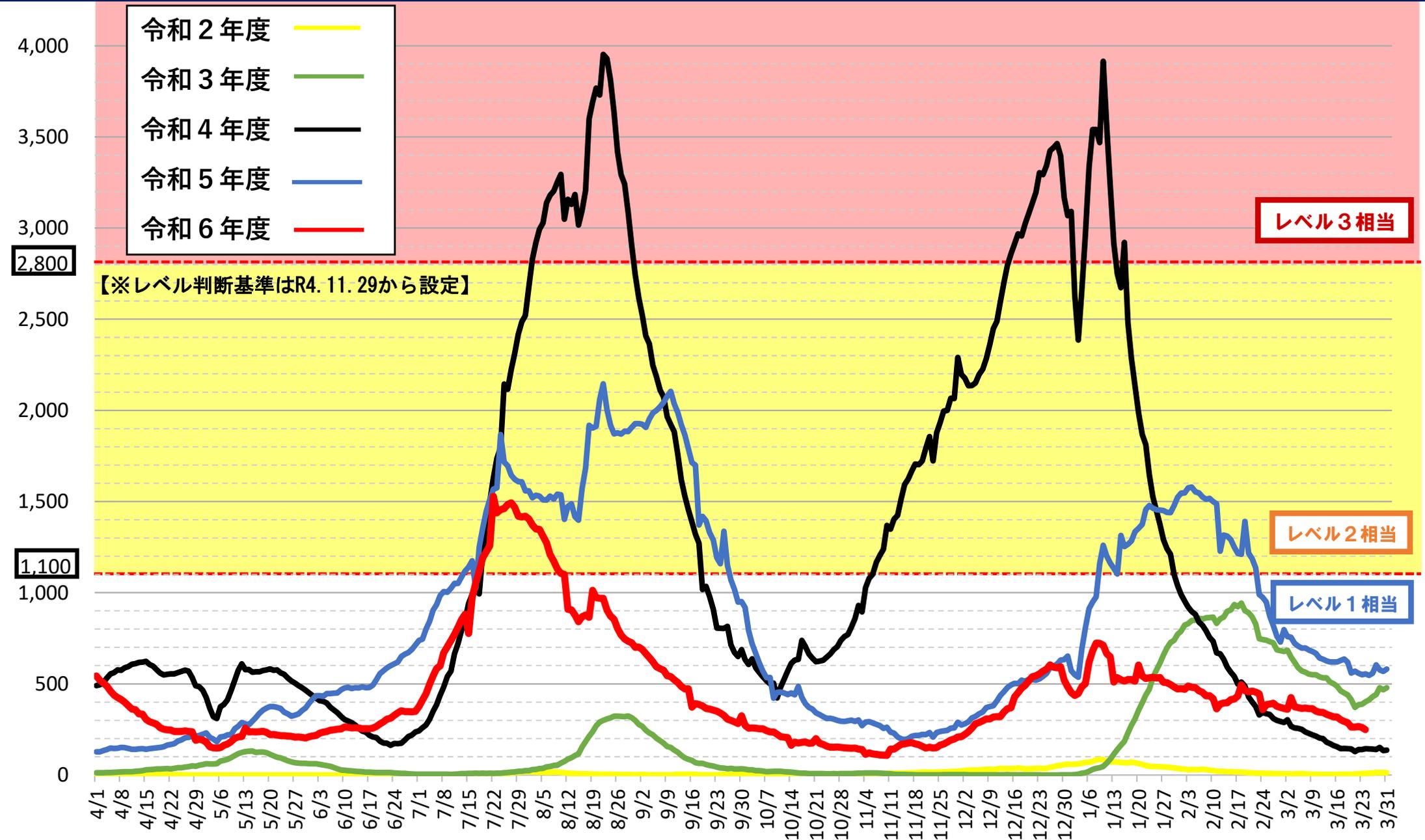


# 【新型コロナウイルス】

## 1 定点あたりの新規陽性者数（1 週間合計）の推移



# 【新型コロナウイルス】 年度ごとの新規陽性者数（1週間平均）の推移

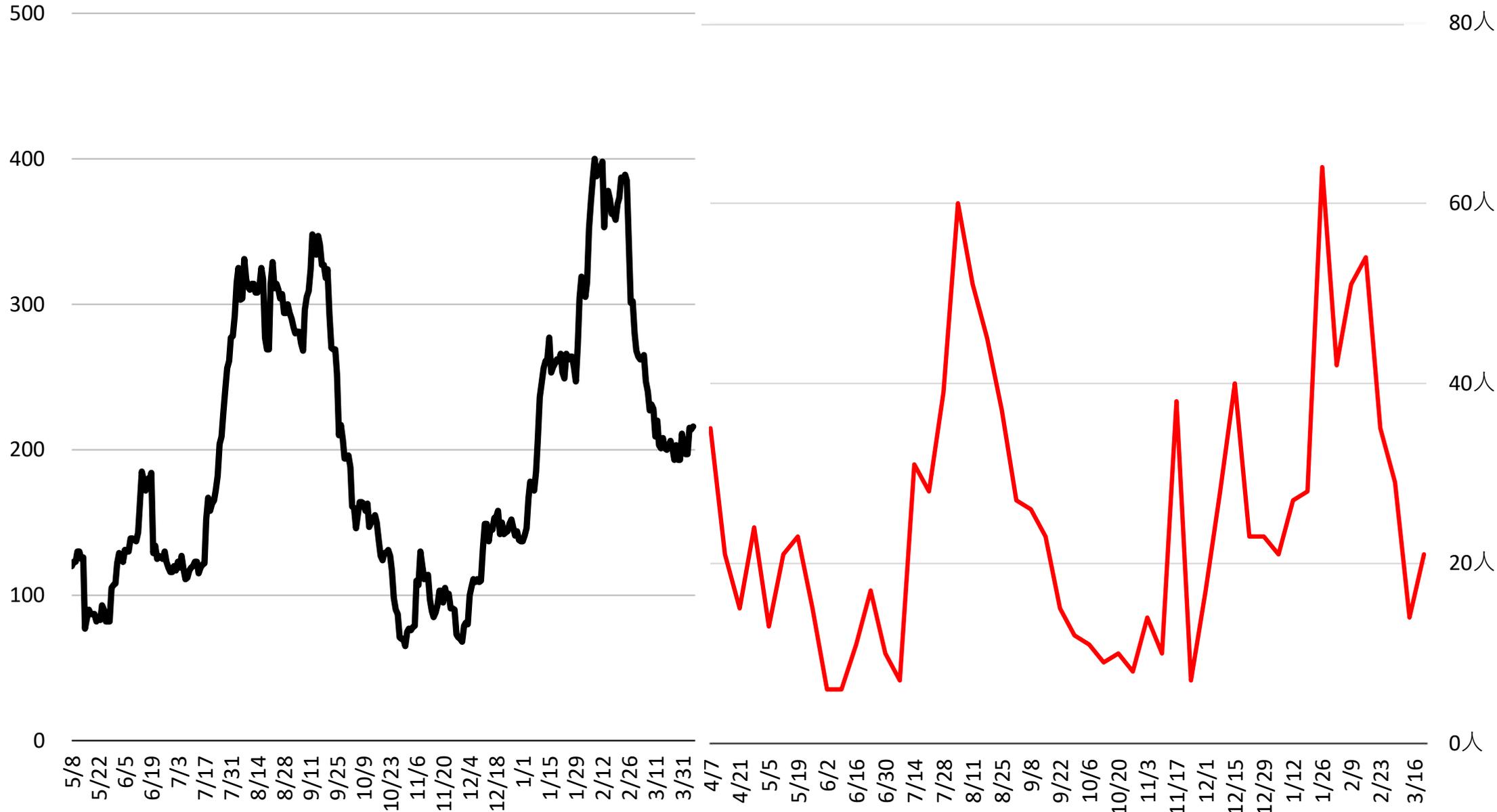


➤ 令和 5 年 5 月 8 日以降は推計値を用いて算出

# 【新型コロナウイルス】入院者数の推移

令和5年度

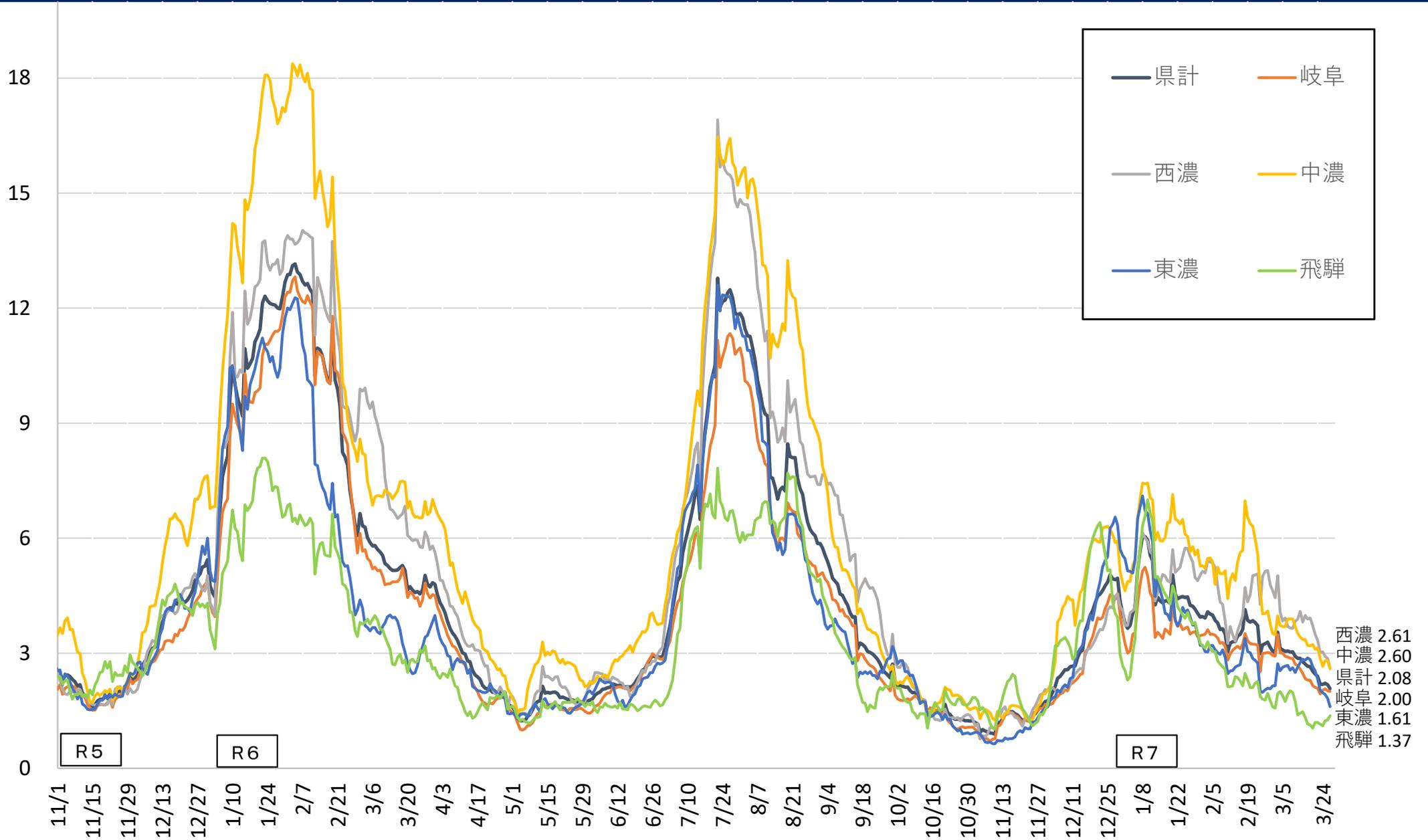
令和6年度



▶ 【令和5年度】 県内全ての医療機関が医療機関等情報支援システム（G-MIS）を通じて報告をした入院者数を日毎に集計

▶ 【令和6年度】 基幹定点医療機関（県内5病院）において新型コロナウイルスに感染した新規入院者数を週毎に集計。

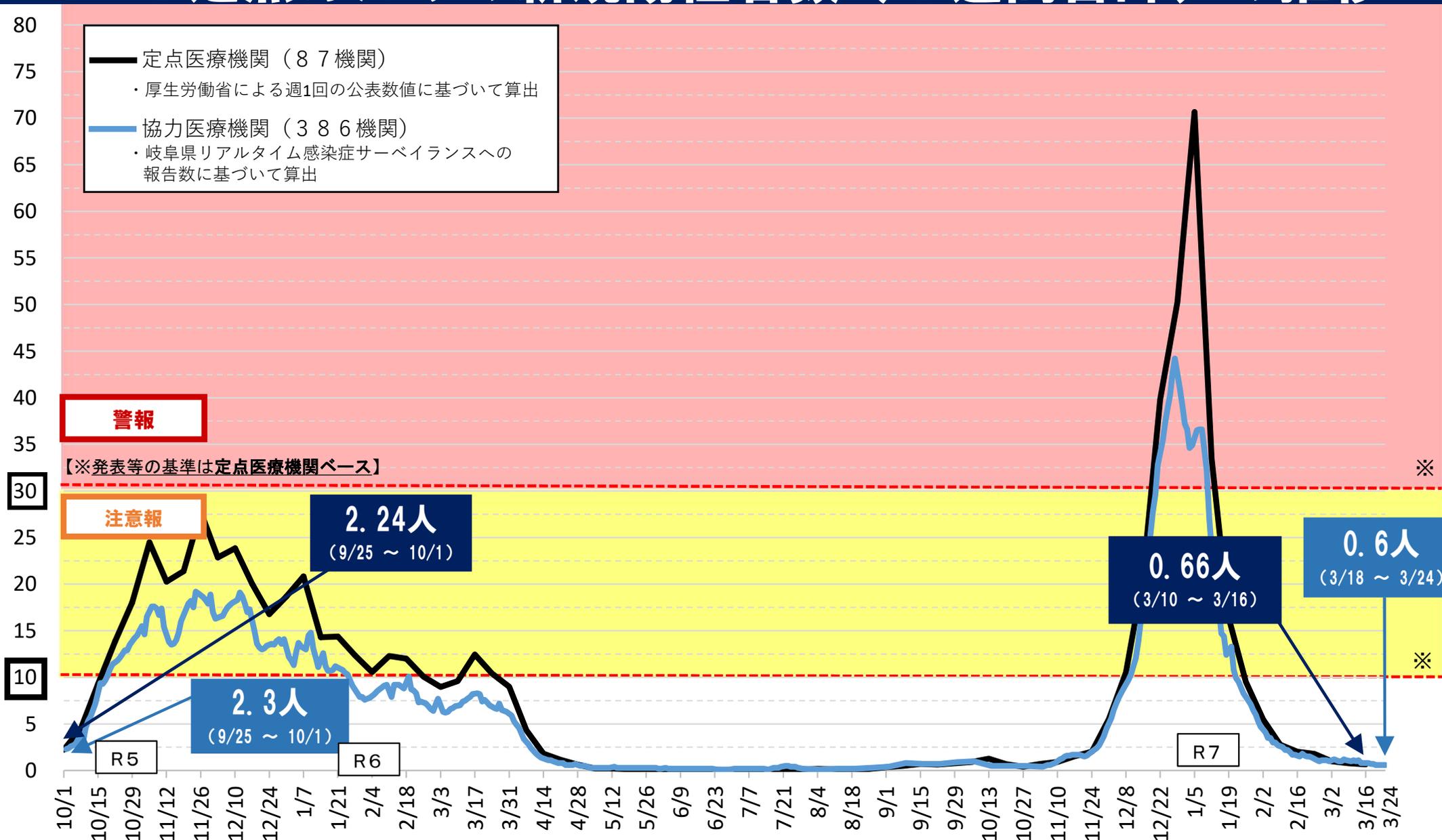
# 【新型コロナウイルス】 圏域別陽性者(1 定点あたり/1 週間合計)の推移



※岐阜県リアルタイム感染症サーベイランスへの報告数に基づいて算出

# 【季節性インフルエンザ】

## 1 定点あたりの新規陽性者数（1 週間合計）の推移

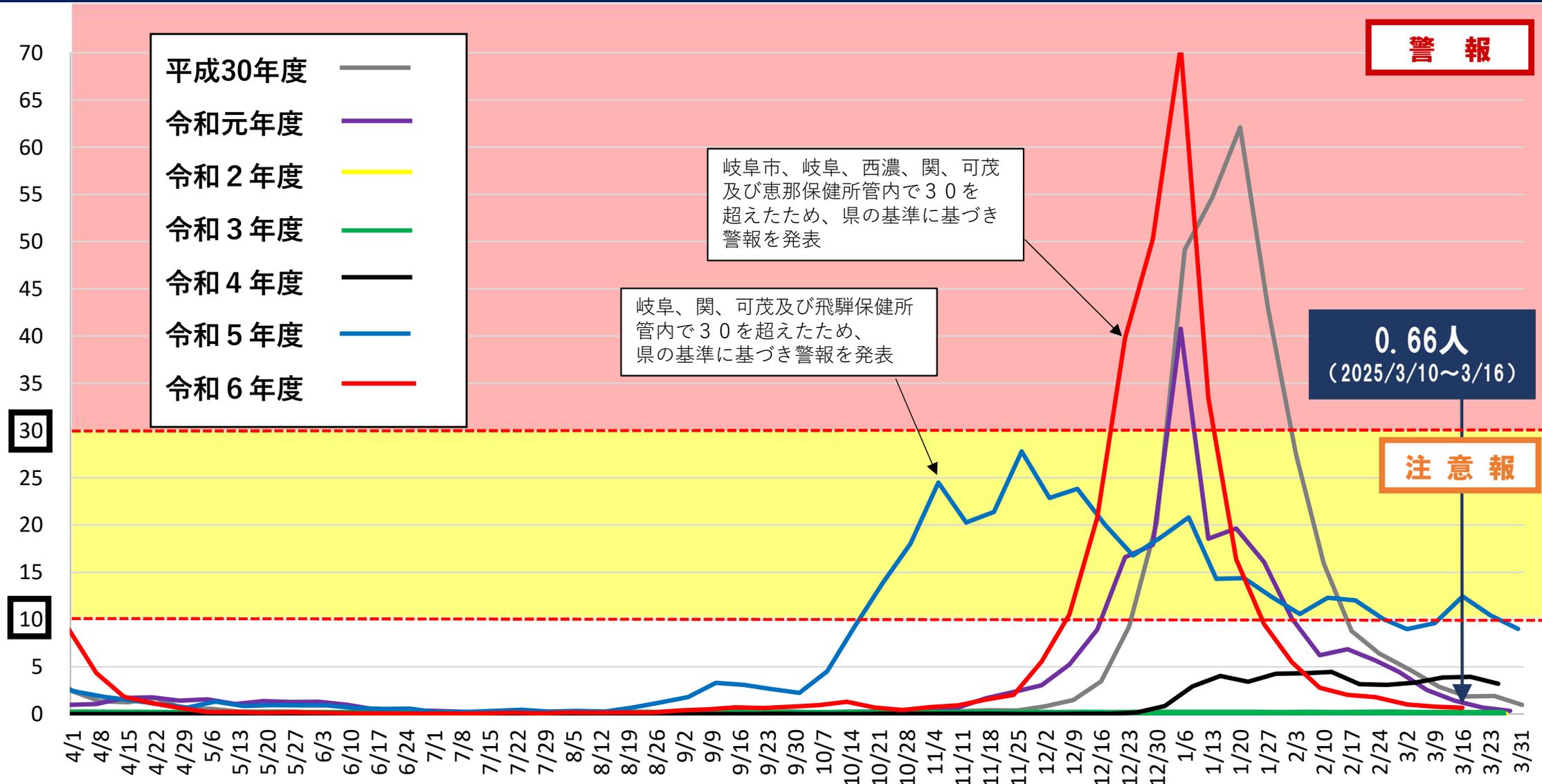


※岐阜県における発表等の基準（岐阜県インフルエンザ注意報及び警報発表要領）

注意報発表：県内の1以上の保健所管内で「定点医療機関当たり **10例**」以上となった場合

警報発表：県内の1以上の保健所管内で「定点医療機関当たり **30例**」以上となった場合

# 【季節性インフルエンザ】 年度ごとの1 定点あたり新規陽性者数(1 週間合計)の推移



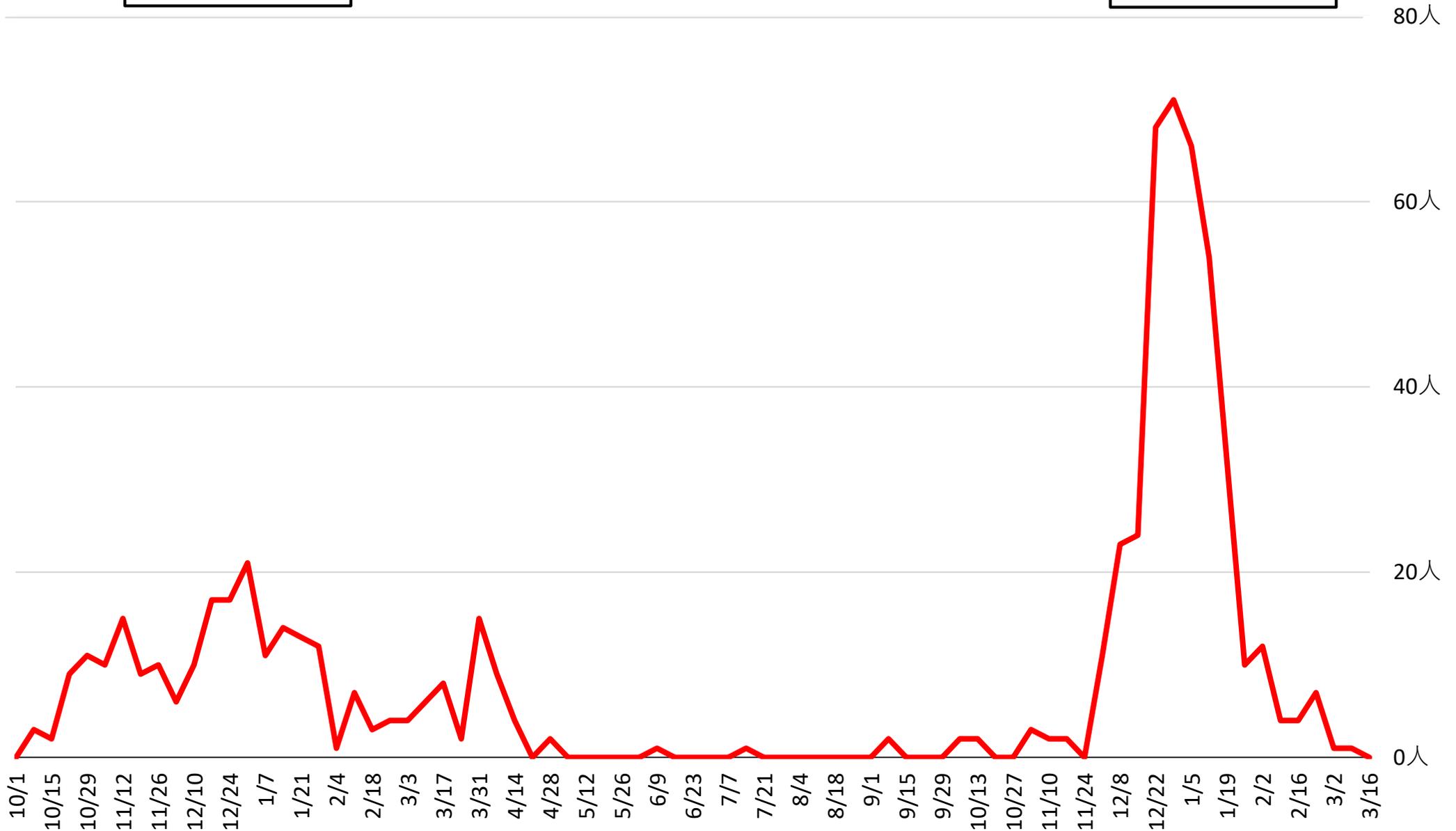
※ 厚生労働省による週1回の公表数値に基づいて算出 (87定点医療機関)

※岐阜県における発表等の基準 (岐阜県インフルエンザ注意報及び警報発表要領)  
 注意報発表：県内の1以上の保健所管内で「定点医療機関当たり **10例**」以上となった場合  
 警報発表：県内の1以上の保健所管内で「定点医療機関当たり **30例**」以上となった場合

# 【季節性インフルエンザ】入院者数の推移

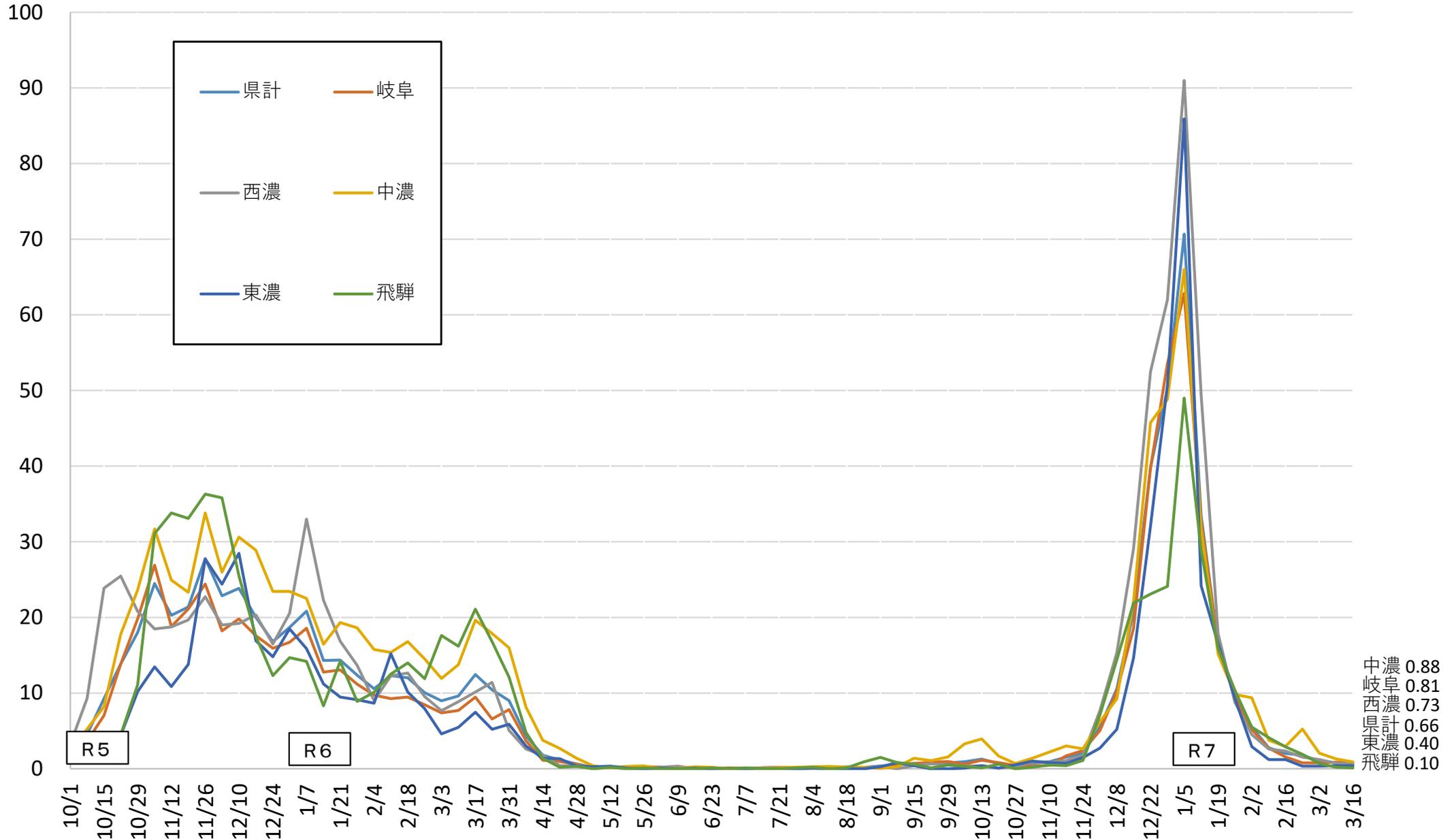
令和5年度

令和6年度



➤ 基幹定点医療機関（県内5病院）においてインフルエンザに感染した新規入院者数を週毎に集計。

# 【季節性インフルエンザ】 圏域別陽性者(1定点あたり/1週間合計)の推移



中濃 0.88  
 岐阜 0.81  
 西濃 0.73  
 県計 0.66  
 東濃 0.40  
 飛騨 0.10

※ 厚生労働省による週1回の公表数値に基づいて算出 (87定点医療機関)

**新** 新たな感染症危機に備えた危機管理体制の強化

1 事業費	4,376 (前年度 0)		
	<b>【財源内訳】</b>	<b>【主な使途】</b>	
	国庫 2,179	委託料 3,114	
	一般財源 2,197	報償費 1,137	
		旅費 85	

2 背景・事業目的

新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」という。）への対応を踏まえた新型インフルエンザ等対策行動計画（以下、「行動計画」という。）に基づく取組みを着実に実行に移していくとともに、関係者一同による訓練を実施し、新たな感染症危機に向けた危機管理体制の強化に取り組む。

3 事業概要

(1) 平時における感染症危機管理体制の整備 (1,262 千円)

新型コロナ対応において有効に機能した体制を平時にも継承し、行動計画の進捗状況を定期的に確認する。

<p style="text-align: center;">＜新型コロナ対応時の体制＞</p> <p>感染症対策本部</p> <p>感染症対策協議会</p> <p>感染症対策専門家会議</p>	<p style="text-align: center;">＜平時の体制＞</p> <p>⇒ 新型インフルエンザ等対策推進会議</p> <p>⇒ 新型インフルエンザ等対策推進協議会</p> <p>⇒ 継続</p>
---	---

(2) 感染症危機管理対応のための訓練の実施 (3,114 千円)

有事における「協議・意思決定体制」、「医療提供体制」、「検査実施体制」、「保健所体制」等の対応を確認するため、県、市町村、医療機関、関係団体等で連携したシミュレーション型の訓練を実施する。

(款) 4 衛生費 (項) 4 保健予防費 (目) (2) 感染症予防費  
 (明細書事業名) ○防疫費  
 防疫対策費

## 新たな感染症危機に備えた医療提供体制の強化

<地域医療介護総合確保基金事業>

1 事業費 353,091 (前年度 313,951)

【財源内訳】

【主な用途】

国庫 149,612 補助金 297,825

繰入金 35,000 寄附金 35,000

一般財源 168,479 消耗品費 18,884

### 2 背景・事業目的

新たな感染症危機に備え、協定を締結した医療機関の設備整備への支援のほか、感染症対応にあたる人材の養成・資質の向上や個人防護具の備蓄など、医療提供体制の更なる強化に取り組む。

### 3 事業概要

#### (1) 協定締結医療機関の設備整備への支援 (297,825 千円)

協定締結医療機関における検査実施能力の拡充を図るため、PCR検査装置の設備整備を支援する。

[補助率] 10 / 10

#### (2) 感染症対応にあたる人材の養成・資質の向上 (36,400 千円)

<地域医療介護総合確保基金事業>

- 医療従事者や保健所職員向けに作成した感染症対応の基礎を学ぶ研修動画に加え、新たに応用的な内容の研修動画を作成し、配信する。
- 岐阜大学に設置した感染症寄附講座により、感染症を専門とする医師のほか、感染管理・制御にかかる高度な知識や技術を有する看護師、薬剤師、臨床検査技師等の専門人材を養成する。

#### (3) 有事に備えた個人防護具の計画的な備蓄 (18,866 千円)

流行初期の段階において、個人防護具(※)が確実に確保されるよう、平時から計画的な備蓄を行う。

※ 医療用(サージカル)マスク、N95マスク、アイソレーションガウン、フェイスシールド、非滅菌手袋

(款) 4 衛生費 (項) 4 保健予防費  
(目) (2) 感染症予防費  
(明細書事業名) ○ 防疫費  
防疫対策費

(款) 4 衛生費 (項) 1 医務費  
(目) (2) 医務費  
(明細書事業名) ○ 医療監視等指導費  
医療監視費

# 平時・有事における感染症対応に係る実施体制

保健・医療

全般  
保健・医療  
+  
社会・経済

## 平 時

【予防計画の実施状況等について協議】

### 感染症対策連携協議会

(県、岐阜市、感染症指定医療機関、医療関係団体、福祉団体、消防)

根拠：感染症法

【新型インフルエンザ等の対策について決定】 = スピード感ある決断

### 新型インフルエンザ等対策推進会議

(副知事、教育長、警察部本部長、各部局長、岐阜市保健衛生部長等)

根拠：要綱

【新型インフルエンザ等の対策について協議】 = 「オール岐阜」による推進

### 新型インフルエンザ等対策推進協議会

(市町村、医療団体、経済団体、金融機関等)

根拠：要綱

【感染症対策の実施・検証に係る専門的な知見を聴取】 = 専門知の活用

### 感染症対策専門家会議

(感染症・救急医療・防災・経済の専門家)

根拠：条例

## 有事 (感染症発生・まん延時)

【予防計画に基づく体制整備・対策について協議】

### 感染症対策連携協議会

(県、岐阜市、感染症指定医療機関、医療関係団体、福祉団体、消防)

根拠：感染症法

【各地域の医療提供における役割・ルールについて協議】

### 感染症対策調整本部

(県、岐阜市、感染症・救急医療専門家、医療機関、医療関係団体等)

根拠：要綱

【新型インフルエンザ等の対策について決定】 = スピード感ある決断

### 感染症対策本部

(知事、副知事、教育長、警察部本部長、各部局長等)

根拠：特措法・条例

【新型インフルエンザ等の対策について協議】 = 「オール岐阜」による推進

### 感染症対策協議会

(市町村、県議会議長、医療団体、経済団体、金融機関等)

根拠：条例

【感染症対策の実施・検証に係る専門的な知見を聴取】 = 専門知の活用

### 感染症対策専門家会議

(感染症・救急医療・防災・経済の専門家)

根拠：条例

# [参考] 感染症対応に係る協議体の構成員

(フェーズ)  
(分野・対象)

## 平時

### 感染症対策連携協議会

#### ▶ 予防計画を策定・進捗管理

1	岐阜県健康福祉部 部長
2	岐阜市保健衛生部 部長・岐阜市保健所 所長
3	岐阜赤十字病院 院長
4	大垣市民病院 院長
5	中濃厚生病院 院長
6	県立多治見病院 院長
7	久美愛厚生病院 院長
8	県医師会 会長
9	県病院協会 会長
10	県歯科医師会 会長
11	県薬剤師会 会長
12	県看護協会 会長
13	ぎふ総合健診センター所長・岐阜大学名誉教授 村上 啓雄
14	岐阜大学医学部附属病院 感染制御室 室長 馬場 尚志
15	国立病院機構長良医療センター 院長 加藤 達雄
16	朝日大学保健医療学部 副学部長・教授 小倉 真治
17	岐阜大学大学院医学系研究科 感染症寄附講座 特任教授 手塚 直行
18	岐阜県消防長会 会長
19	県老人福祉施設協議会 会長
20	県知的障害者支援協会 会長
21	保健所長会 会長(岐阜保健所 所長)

### 新型インフルエンザ等対策推進会議

#### ▶ 感染症対策、県民生活の維持等に必要な施策の方針を決定

1	副知事(健康福祉部担当)
2	副知事
3	各部長
4	会計管理者
5	各行政委員会等(教育委員会を除く)事務局長
6	教育長
7	警察本部長
8	各県事務所長
9	岐阜市保健衛生部長

### 新型インフルエンザ等対策推進協議会

#### ▶ 新型インフルエンザ等の施策を協議

1	市町村長
2	県医師会 会長
3	県病院協会 会長
4	県歯科医師会 会長
5	県薬剤師会 会長
6	県看護協会 会長
7	県観光連盟 会長
8	県経営者協会 会長
9	県商工会議所連合会 会頭
10	県商工会連合会 会長
11	県中小企業団体中央会 会長
12	県経済同友会 筆頭代表幹事
13	県商店街振興組合連合会 理事長
14	県農業協同組合中央会 代表理事会長
15	大垣銀行協会 会長
16	日本政策金融公庫 岐阜支店長
17	商工組合中央金庫 岐阜支店長
18	岐阜労働局 局長

### 感染症対策専門家会議

#### ▶ 感染症対策の実施・検証について専門的な知見を聴取

1	ぎふ総合健診センター所長・岐阜大学名誉教授 村上 啓雄
2	岐阜協立大学経営学部 教授 竹内 治彦
3	愛知医科大学大学院医学研究科 臨床感染症学 教授 三嶋 廣繁
4	岐阜大学医学部附属病院 感染制御室 室長 馬場 尚志
5	国立病院機構長良医療センター 院長 加藤 達雄
6	日本大学危機管理学部 危機管理学科 准教授 中林 啓修
7	朝日大学保健医療学部 副学部長・教授 小倉 真治
8	岐阜県医師会 会長 伊在井 みどり
9	岐阜県病院協会 会長 松波 英寿
10	岐阜大学大学院医学系研究科 感染症寄附講座 特任教授 手塚 直行

## 感染症発生・まん延時

### 感染症対策連携協議会

#### ▶ 予防計画に基づく対応を協議

1	岐阜県健康福祉部 部長
2	岐阜市保健衛生部 部長・岐阜市保健所 所長
3	岐阜赤十字病院 院長
4	大垣市民病院 院長
5	中濃厚生病院 院長
6	県立多治見病院 院長
7	久美愛厚生病院 院長
8	県医師会 会長
9	県病院協会 会長
10	県歯科医師会 会長
11	県薬剤師会 会長
12	県看護協会 会長
13	ぎふ総合健診センター所長・岐阜大学名誉教授 村上 啓雄
14	岐阜大学医学部附属病院 感染制御室 室長 馬場 尚志
15	国立病院機構長良医療センター 院長 加藤 達雄
16	朝日大学保健医療学部 副学部長・教授 小倉 真治
17	岐阜大学大学院医学系研究科 感染症寄附講座 特任教授 手塚 直行
18	岐阜県消防長会 会長
19	県老人福祉施設協議会 会長
20	県知的障害者支援協会 会長
21	保健所長会 会長(岐阜保健所 所長)

### 感染症対策本部

#### ▶ 新型インフルエンザ等の対策を検討

1	知事
2	副知事
3	副知事
4	各部長
5	会計管理者
6	各行政委員会等(教育委員会を除く)事務局長
7	教育長
8	警察本部長
9	各県事務所長

### 感染症対策協議会

#### ▶ 感染症対策の具体的な施策の実施を協議

1	市町村長
2	県医師会 会長
3	県病院協会 会長
4	県歯科医師会 会長
5	県薬剤師会 会長
6	県看護協会 会長
7	県観光連盟 会長
8	県経営者協会 会長
9	県商工会議所連合会 会頭
10	県商工会連合会 会長
11	県中小企業団体中央会 会長
12	県経済同友会 筆頭代表幹事
13	県商店街振興組合連合会 理事長
14	県農業協同組合中央会 代表理事会長
15	大垣銀行協会 会長
16	日本政策金融公庫 岐阜支店長
17	商工組合中央金庫 岐阜支店長
18	岐阜労働局 局長

### 感染症対策専門家会議

#### ▶ 感染症対策の実施・検証について専門的な知見を聴取

1	ぎふ総合健診センター所長・岐阜大学名誉教授 村上 啓雄
2	岐阜協立大学経営学部 教授 竹内 治彦
3	愛知医科大学大学院医学研究科 臨床感染症学 教授 三嶋 廣繁
4	岐阜大学医学部附属病院 感染制御室 室長 馬場 尚志
5	国立病院機構長良医療センター 院長 加藤 達雄
6	日本大学危機管理学部 危機管理学科 准教授 中林 啓修
7	朝日大学保健医療学部 副学部長・教授 小倉 真治
8	岐阜県医師会 会長 伊在井 みどり
9	岐阜県病院協会 会長 松波 英寿
10	岐阜大学大学院医学系研究科 感染症寄附講座 特任教授 手塚 直行

医療・保健

感染症全般

全般(医療・保健 + 社会・経済)

新型インフルエンザ等

## 岐阜県感染症予防計画における数値目標の進捗状況

(R6.10現在)

### [流行初期（発生公表後、3ヶ月程度）]

新型コロナ発生約1年後（令和2年冬）の感染規模に対応できる体制

		目標	実績	進捗状況	達成度
<b>医療提供体制</b>		100%			
確保病床	病院・診療所	492 床	745 床	 151.4%	A
発熱外来	病院・診療所	61 機関	255 機関	 418.0%	A
<b>検査実施体制</b>					
検査実施能力		1,207 件/日	4,508 件/日	 373.5%	A
<b>宿泊療養体制</b>					
確保居室		265 室	265 室	 100.0%	A

### [流行初期以降]

新型コロナ対応で確保した最大の体制

		目標	実績	進捗状況	達成度
<b>医療提供体制</b>		100%			
確保病床	病院・診療所	884 床	902 床	 102.0%	A
発熱外来	病院・診療所	838 機関	840 機関	 100.2%	A
自宅療養者等への医療の提供	病院・診療所	545 機関	649 機関	 119.1%	A
	薬局	366 機関	804 機関	 219.7%	A
	訪問看護事業所	51 機関	71 機関	 139.2%	A
後方支援	病院・診療所	30 機関	70 機関	 233.3%	A
人材派遣	医師	34 人	97 人	 285.3%	A
	看護師	54 人	160 人	 296.3%	A
<b>検査実施体制</b>					
検査実施能力		9,200 件/日	9,261 件/日	 100.7%	A
<b>宿泊療養体制</b>					
確保居室		1,876 室	2,001 室	 106.7%	A

達成度 A：100%以上 B：75%以上・100%未満 C：50%以上・75%未満 D：25%以上・50%未満 E：25%未満